

令和元年度事業報告について

第1 事業推進の基本方針

北海道の酪農畜産は、広大な自給飼料基盤を背景に、生産者をはじめ関係者による不断の努力により、厳しい気象条件を克服しつつ今日まで発展し、地域の経済や雇用、更にはコミュニティを支える重要な基幹産業として大きな役割を果たしている。

しかし、近年、担い手の高齢化や後継者の不足などにより離農に歯止めがかからず、生産基盤の脆弱化が懸念されている。

また、TPP11や日欧EPAの発効や日米物品貿易協定（TAG）交渉の開始など、国際貿易の進展による影響が懸念される中、台風や集中豪雨、更には地震などの自然災害に見舞われ、生産者の先行きに対する不安は大変大きなものとなっている。

このような中、本協会では、畜産クラスター事業や楽酪・楽酪GO事業、自然災害からの復興を支援する畜産経営災害総合対策緊急支援事業実施し、地域が一体となって収益性の向上や生産力の回復を図る取組みを支援した。

また、道内酪農畜産の経営基盤確立に資するため、関係機関・団体と緊密な連携を図りながら、これらの事業を自ら取組むとともに、畜産経営の改善指導や家畜の登録改良をはじめとする生産振興を一層充実・強化して、各般の事業を効果的かつ効率的に実施した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導等推進事業（地方競馬全国協会/補助 25,462 千円）

畜産の担い手育成・確保に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

(2) 強い農業づくり事業：畜産生産基盤育成強化（北海道・北海道農業公社/補助他 2,540 千円）

新たな畜産の担い手や地域の中核となる畜産経営を支援するため、経営診断結果を基に経営改善や生産技術指導と経営管理等総合的な支援を行った。

経営診断・分析支援 13 件

(3) 畜産経営診断指導事業（農協・生産者/1,404 千円）

畜産経営の各種分析を行い、経営改善のための助言及び指導を行った。

助言指導 15 件

(4) 畜産特別資金推進指導事業（中央畜産会/補助 30,767 千円）

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、本協会が独自に開発した酪農経営支援システム等を活用し、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導を実施した。また、融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

① 都道府県支援協議会の開催

- ・協議会活動の企画・調整等 8 回
- ・経営事例調査 83 件

② 融資機関への指導・助言

- ・研修会等 4 回（札幌市、旭川市、音更町、釧路市）

③ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

- ・計画作成指導等 169 件
- ・濃密指導（月次モニタリング） 4 農協・11 件
- ・酪農経営支援システム活用状況 22 農協・分析 986 件

(5) 畜産関係団体調整機能強化事業：相談窓口（中央畜産会/委託 1,000 千円）

資金管理、飼養管理上の課題を抱える酪農・畜産経営に対し、現地において助言・指導等を行った。

助言指導 10 件

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛生産基盤振興

（北海道・ホクレン農協連・ジェネティクス北海道/補助他 29,975 千円）

北海道和牛の産地ブランド確立のため、生産者をはじめ、関係機関・団体が一体となり、優良繁殖雌牛の選抜・保留や次世代種雄牛の造成、道内肥育の推進など、北海道和牛の生産基盤強化を図る取組みに対し支援を行った。

① 道産種雄牛を活用した和牛生産基盤強化対策

- ・ゲノム育種価評価 473 頭 20 集団 11,250 円/頭

② 育種改良組織等の活動強化

- ・ゲノム育種価評価 104 頭 2 集団 11,250 円/頭
- ・現地検討会 1 回

③ 高能力繁殖雌牛活用推進 174 頭 15,000 円/頭

④ 新規種雄牛早期市場評価推進対策 24 頭 30,000 円/頭

⑤ 道内肥育推進対策

- ・道内出荷仕向け導入奨励 68 頭 50,000 円/頭
- ・道内出荷仕向け増頭奨励 78 頭 120,000 円/頭

⑥ 枝肉改良共同研究

- ・画像解析技術による脂肪交雑形状の指標評価活用法の開発 帯広畜産大学
- ・低コスト早期肥育出荷技術モデル実証 畜産試験場

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構/補助 224,766 千円）

① 肉用牛生産基盤強化対策

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取組みに対し支援を行った。

- ・繁殖雌牛の増頭に対する助成

育種価等要件達成 1,619 頭 80 千円/頭・100 千円/頭

- ・肉用牛ヘルパー活動に対する助成（1/2 以内） 11 利用組合
- ・簡易牛舎の整備に対する助成（1/2 以内） 30 件

② 地域の特色ある肉用牛振興対策

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取組みに対し支援を行った。

- ・褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する助成 79 頭 16,000 円/頭
- ・離島子牛の島外家畜市場出荷に対する助成 76 頭 4,600 円/頭
- ・日本短角種経営の自給飼料生産資材等に対する助成 1,373 千円/生産者集団

③ 災害緊急支援対策（H30 災害）

平成 29 年度大雪被害、平成 30 年度北海道胆振東部地震で被災した肉用牛農家の経営継続・再開に向けた支援を行った。

- ・牛舎、飼養管理の附帯施設・機械の補改修等に対する助成 2 団体
- ・緊急避難等支援 1 団体

(3) 畜産経営災害総合対策緊急支援事業（農畜産業振興機構/補助 150,245 千円）

停電時に家畜の生命維持に必要な機械を稼働させるための非常用電源の整備について、支援を行った。

- ・非常用電源の整備 42 団体

(4) 畜産・酪農生産力強化対策事業：A I・E T（中央酪農会議/委託 10,000 千円）

和子牛の生産拡大と優良な乳用種後継牛の確保により、畜産・酪農生産基盤を強化する事業の推進指導を行った。

事務取扱 92 農協 補助金額 744,568 千円

(5) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における分娩間隔の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、地域の生産者や技術者対象の研修会等を開催し、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

① 肉牛改良推進のための研修会等の開催

- ・和牛技術研修会 全道 5 地区巡回指導
- ・和牛振興委員研修会 1 回（札幌市）
- ・和牛生産農家後継者研修会 1 回（札幌市）
- ・和牛女性部研修会 2 回（音更町・札幌市）

- ② 家畜生体肉質装置を用いた肉質診断の技術向上 2回
- ③ 家畜共進会、肉牛枝肉共励会の審査・後援・協賛等 54回
- ④ 全国和牛登録協会主催の産肉能力検定事業の立会
 - ・直接検定（開始・終了） 4回
- ⑤ 家畜改良事業団主催の現場後代検定種雄牛枝肉調査の立会
 - ・現場後代検定（前期・後期） 12回
- ⑥ 協会のホームページによる肉牛改良情報の提供 21,198件（アクセス件数）
- ⑦ 和牛経営定点調査事業 19戸
- ⑧ 和牛育種事業強化支援対策
 - ・びらとり和牛育種組合
 - ・十勝和牛育種推進部会

(6) 豚登録改良事業（生産者/265千円）

豚の登記・登録を実施することにより、品種の証明を行い、育種改良及び遺伝子能力評価のデータを効率的に収集した。

〔登記等・証明件数〕 (単位：件・%)

区 分	子豚登記	種豚登録	一腹記録証明
件 数	90	30	31
前年度対比	12.6	5.2	10.7

(7) 強い農業づくり事業：めん羊振興（北海道/補助100千円）

優良な系統の普及啓発を推進するとともに、めん羊の飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、研修会を開催した。

研修会開催 2回（札幌市）

(8) めん羊登録改良事業（生産者/1,649千円）

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

〔登録・証明件数〕 (単位：件・%)

区 分	登 録		証 明
	血 統	予 備	出 生
件 数	547	148	1,968
前年度対比	92.6	1,057.1	124.0

(9) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

① 北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖、生産基盤の充実と経営安定に資する各種の活動を行った。

② 北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取組みを行った。

③ 北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

④ 北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。また、各種イベント等を企画し、道産牛肉のPRに努めた。

⑤ 北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道におけるあか牛の生産振興に資する取組みを行った。

⑥ 北海道短角牛振興協議会

日本短角種を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道における日本短角種の生産振興に資する取組みを行った。

⑦ 北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取組みを行った。

⑧ 北海道指定種豚場協議会

道内で種豚を生産する個人等で構成され、優良種豚の確保・改良を促進し、養豚の生産振興に資する取組みを行った。

⑨ 北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取組みを行った。

⑩ 北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術発表会の開催などの取組みを行った。

⑪ 北海道地方公営競馬振興協議会

道内における地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

⑫ 北海道自給飼料改善協議会

自給飼料確保に向けた啓発活動や自給飼料基盤の改善・向上のための研修会を開催した。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定を図るため、次の事業を行った。

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金：牛マルキン（農畜産業振興機構/委託他 107,689千円）

肥育牛契約生産者の負担金により基金を造成し、牛枝肉価格等の変動によって肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対して、農畜産業振興機構からの交付金と併せて補填を行った。

① 生産者負担金単価 (単位：円)

品種区分	平成 30 年度	令和元年度
肉専用種	16,000	16,000
交雑種	17,000	17,000
乳用種	19,000	19,000

② 交付金単価〔平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月販売分〕 (単位：円)

品種区分	販売年月 ※交付は販売の翌々月					
	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9
肉専用種	—	31,572.9	15,579.9	24,936.3	52,125.3	34,776.0
交雑種	—	—	—	—	—	—
乳用種	42,722.1	30,806.1	31,029.3	35,702.1	26,905.5	28,826.1

品種区分	販売年月 ※交付は販売の翌々月					
	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3
肉専用種	24,741.0	—	21,557.7	46,497.6	89,523.0	217,865.7
交雑種	15,271.2	356.4	—	—	24,121.8	116,715.6
乳用種	48,722.4	53,726.4	63,042.3	47,339.1	39,319.2	54,562.5

③ 交付金交付実績 (単位：頭・円)

品種区分	対象頭数	交付金額		計
		負担金	交付金	
肉専用種	23,345	159,099,423	486,682,085	645,781,508
交雑種	9,111	17,065,244	51,195,428	68,260,672
乳用種	114,366	1,209,567,480	3,630,816,487	4,840,383,967
合計	146,822	1,385,732,147	4,168,694,000	5,554,426,147

④ 基金管理実績 (単位：円)

品種区分	期首残高	期中		期末残高
		増加	減少	
肉専用種	130,637,343	567,630,905	159,099,423	539,168,825
交雑種	262,191,000	1,054,531,751	17,065,244	1,299,657,507
乳用種	578,390,428	2,172,718,969	1,209,567,480	1,541,541,917
合計	971,218,771	3,794,881,625	1,385,732,147	3,380,368,249

(2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業：緊急支援金

平成 23 年度において肉用牛肥育生産者に交付した緊急支援金の返還に関する業務を行った。

緊急支援金返還実績 (単位：戸・千円・%)

区 分	令和 2 年 3 月 31 日	
	戸 数	金 額
交付金額 A	322	9,320,300
全額返還 B	319	9,242,550
一部返還 C	3	46,062
返還額合計 D = B+C	—	9,288,612
回収不能額 E ※	1	24,388
未返還額 A-D-E	2	7,300
返還率 (D+E)/A	99.9	

※ 自己破産した対象者の未返還金残高

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や畜産物の消費拡大を図るため、消費者に対し P R 活動を行った。

(1) 畜産関係団体調整機能強化事業：地方競馬（中央畜産会/委託 500 千円）

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援：2 回（帯広市）

(2) ばんえい競馬振興事業（馬事畜産振興協議会/委託 132 千円）

地方競馬の収益金の活用方法を広く P R するため、馬事畜産振興協議会が主催するイベントに対する支援を行った。

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

[登記・登録件数]

(単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	72,041	9,950
	前年度対比	101.6	96.9
褐毛和種	件 数	602	128
	前年度対比	91.2	94.1
日本短角種	件 数	374	78
	前年度対比	397.9	195.0
外国種	件 数	67	36
	前年度対比	89.3	70.6

[登録審査員の養成及び技術向上]

登録窓口別審査研修及び子牛検査委員資格認定研修会 5回(帯広市他)

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

[取扱実績]

(単位：台・千円・%)

区 分		台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース	・再生バルククーラー ・新品バルククーラー他	13	81,350	185.4
畜産近代化リース	・自給飼料生産利用機械施設 ・生乳生産合理化施設 ・畜産環境改善機械施設	47	404,667	86.2
畜産環境整備機構	・経営リース ・調査リース	5	68,559	96.3
合 計		65	554,576	94.9

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

- (1) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：機械導入（中央畜産会/委託 28,518 千円）

畜産クラスター協議会を対象とした機械導入事業の参加要望書の取りまとめなどの推進業務を行った。

配分件数 85 協議会 補助金額 11,487,379 千円

- (2) 畜産経営体生産性向上対策事業：畜産 I C T（中央畜産会/委託 5,900 千円）

畜産 I C T 応援会議を対象とした機械装置導入事業の参加要望書の取りまとめなどの推進業務を行った。

配分件数 55 会議 補助金額 1,155,896 千円

- (3) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業：楽酪 G O（中央畜産会/委託 4,489 千円）

楽酪応援会議を対象とした労働負担軽減事業及び後継牛預託育成体制整備事業の参加要望書の取りまとめなどの推進業務を行った。

配分件数 7 会議 補助金額 272,456 千円

- (4) クラスター全国実態調査事業（中央畜産会/委託 5,000 千円）

畜産クラスターに係る取組みを全国で推進するため、先進的な経営等を対象に経営内容に係る調査を行った。

調査件数 50 件

- (5) クラスター改善効果事業（中央畜産会/委託 450 千円）

畜産クラスター事業を活用して機械導入及び施設整備を行った経営体を対象にその効果に係る調査を行った。

調査件数 3 件

- (6) 課題解決サポート調査事業（中央畜産会/委託 2,118 千円）

日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る農家の経営計画作成、経営課題の把握や解決策の提案などを行った。

実施件数 19 件

- (7) 軽種馬経営実態調査事業（中央畜産会/委託 1,480 千円）

軽種馬の生産振興に資するため、軽種馬経営における販売産駒 1 頭当たりの生産費用等の調査を行った。

調査件数 10 件

- (8) 畜産 G A P 拡大推進加速化事業（中央畜産会/委託 1,174 千円）

日本版畜産 G A P の普及推進に向け、指導員を育成するための研修会を開催した。

指導員研修会の開催 1 回 20 名（北見市）

- (9) 畜産・酪農生産力強化対策事業：生産性向上対策（中央畜産会/委託 3,503 千円）
家畜の生産力を最大限に発揮させるための家畜生産性に係るデータの収集と生産性向上のためのデータ分析、技術指導を行った。

酪農	25 件
肉用牛	15 件

- (10) 全国優良畜産経営管理技術発表会（中央畜産会/248 千円）
道内の優良な酪農畜産経営事例を調査し、中央畜産会が主催する発表会に推薦した。

酪農	1 件
肉用牛	1 件

- (11) 動産担保融資支援事業（日本政策金融公庫・生産者/委託他 8,562 千円）
日本政策金融公庫、十勝畜産農業協同組合並びに上川家畜商業協同組合と締結した「ABL 協定」に基づき、肉用牛及び乳用牛を担保に運転資金の融資を受けた農家について、飼養牛のモニタリングを行った。

モニタリング	14 件
--------	------

- (12) 地域連携支援事業（日本政策金融公庫/委託 350 千円）
公庫資金が地域の実態に応じて、総合的かつ計画的に活用されるよう、地域農業の実態把握と問題解決に向けた研修会や指導資料の作成を行った。

研修会の開催	2 回（札幌市）
--------	----------

- (13) 草地難防除雑草駆除技術実証事業：H30 補正（日本草地畜産種子協会/委託 9,320 千円）
R 1 補正 138 千円

自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。

事務取扱 [H30 年度分]	60 地区	[R1 年度分]	56 地区
----------------	-------	----------	-------

- (14) 畜産近代化リース貸付指導等事業（畜産近代化リース協会/委託 3,493 千円）
畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。また、農協等に対し同事業の新規開拓、普及啓発を行った。

調査指導	44 基
新規開拓・普及啓発	3 農協等

- (15) 地域経済状況調査事業（北海道農業公社/委託 2,808 千円）
酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。

調査地域	4 地域
------	------

- (16) 自給飼料改善指導事業（ホクレン農協連・北海道農業公社・雪印種苗/1,457 千円）
近年の草地における様々な課題に取り組むため、関係団体から構成された「北海道自給飼料改善協議会」と連携して、自給飼料確保に向けた啓発資料作成や自給飼料基盤の向上・改善のための研修会を開催した。

自給飼料確保に向けた啓発資料の作成	7,000部
自給飼料生産優良事例発表会の開催	1回（札幌市）
自給飼料改善協議会セミナーの開催	1回（札幌市）

8 北農ビル管理運営事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

令和元年度 通常総会 令和元年 6 月 27 日

〔議 事〕

- 議案第1号 平成30年度事業報告及び決算報告等について
- 議案第2号 令和元年度役員報酬について
- 議案第3号 令和元年度会費負担額及び納入について
- 議案第4号 役員を選任について
- 報告事項 令和元年度事業計画及び収支予算について

2 理 事 会 — 議決事項及び報告事項 —

〔第1回〕 令和元年 6 月 11 日

- ① 平成30年度事業報告及び決算報告等について
- ② 令和元年度通常総会の開催及び提出議案について
- ③ 肉用牛肥育経営安定制度に係る手数料について
- ④ 役員推薦委員の選任について

〔第2回〕 令和元年 6 月 27 日

- ① 役付理事の互選について

〔第3回〕（書面） 令和元年 9 月 2 日

- ① アンガス・ヘレフォード種登録規程の一部改正について

〔第4回〕（書面） 令和元年 12 月 13 日

- ① 職員表彰規程の一部改正について

報告事項 令和元年度事業の実施状況等について〔4月～10月〕

〔第5回〕（書面） 【不成立】

- ① 令和2年度事業計画及び収支予算について
- ② 諸規程の一部改正について

報告事項 令和元年度職務執行状況報告について

〔第6回〕（書面） 令和2年 3 月 31 日

- ① 令和2年度事業計画及び収支予算について
- ② 諸規程の一部改正について

報告事項 令和元年度職務執行状況報告について

3 専門委員会

家畜登録改良事業 和牛登録専門委員会

令和元年 9 月 13 日

- ① (公社)全国和牛登録協会に係る総会・各種報告について
- ② (一社)北海道酪農畜産協会登録事業について
- ③ 消費税率引上げによる黒毛和種登録料金の見直しについて

家畜登録改良事業 和牛改良専門委員会

令和 2 年 2 月 27 日

- ① 北海道和牛改良推進目標の現状について
- ② 北海道推奨種雄牛について
- ③ 全国和牛能力共進会について

4 監 査

[監事監査]

令和元年 6 月 3 日

令和元年度監事監査 (平成30年度決算分)

[内部監査]

- | | | |
|---------|------------|-----------------|
| ① 第 1 回 | 総務部 | 令和元年 9月10日、11日 |
| ② 第 2 回 | 畜産クラスター推進室 | 令和元年11月26日、27日 |
| ③ 第 3 回 | 家畜登録改良部 | 令和 2年 1月20日、21日 |
| ④ 第 4 回 | 事業推進部 | 令和 2年 3月23日、24日 |

第 4 会員及び役職員数

[会 員]

項 目	30年度 期 末	元年度		元年度 期 末
		増	減	
会 員	210	—	—	210
団 体	54	—	—	54
農 協	87	—	—	87
市町村	69	—	—	69

[役職員]

項 目	30年度 期 末	元年度		元年度 期 末	摘 要
		増	減		
役 員	12	—	—	12	うち常勤理事1名
理 事	10	—	—	10	
監 事	2	—	—	2	
職 員	38	5	2	41	

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。